

南山大学大学院  
入学試験  
出題の意図および解答例

人間文化研究科  
言語科学専攻

2026年度・夏季

NANZAN  
UNIVERSITY

## 目 次

### 《博士前期課程》

英文資料を基に解答する科目	.....	1
専門領域に関する論述試験	.....	2
小論文	[社会人入学審査] .....	3

<出題の意図>

アドミッション・ポリシーに基づき、本専攻で学ぶ前提として必要となる英語読解力および英語運用能力を確認する。

<解答例・評価のポイント>

この設問では以下の点を主な評価のポイントとして採点をおこなった。なお、英文資料の内容を理解した上での説明を求める問題であり、一義的な解答を示すことが難しいため、解答例の提示はしない。

問1 当該の社会言語学的サーベイがいつ・どこで行われたかを示し、得られた回答の質について「異なり得る」と述べられた理由を非下線部の **however** 以後を読み解くことで答えているかどうか。

問2 下線部以後を読み解くことで、口語での英語使用と文語での英語使用に分け、当該話者が対話する相手となる者の属性を考慮し、選択される言語の差を考慮に入れて答えているかどうか。

問3 当該の英語話者について考察する際の「本質的問題」を意識し、英語話者が置かれている状況を整理し、下線部で述べられたことを基に当該の英語コミュニティの扱い方にまで言及して答えているかどうか。

問4 示された実例に当該の言語現象の記述を対応させ、特に **consonant**、**diphthong**、**monophthong** が、実例のどれのことをいうのかを具体的に示しながら回答しているかどうか。

問5 示された実例に当該の言語現象の記述を対応させ、特に **tense**、**number** が、実例のどれのことをいうのかを具体的に示し、なぜ当該の言語現象が生じているのかを合わせて回答しているかどうか。

## <出題の意図>

### 用語問題

言語学、日本語教育、英語教育の各領域から出題された基本的な用語について、その説明を求める問題である。出題された合計10程度の用語の中から3つの用語を選択して説明・論述する。本専攻におけるアドミッション・ポリシーの中で、志願者に求める資質の一つとして掲げている「人間の言語と文化への深い関心と、言語学あるいは言語教育に関する基礎的な知識」に照らし、各領域の基礎的知識を問うている。

### 論述問題

言語学、日本語教育、英語教育の各領域から出題された問いに対して、自らの考えを論述させる問題である。出題された合計3つ程度の問題の中から1つ問いを選択して論述する。本専攻におけるアドミッション・ポリシーの中で、志願者に求める資質の一つとして掲げている「人間の言語と文化への深い関心と、言語学あるいは言語教育に関する基礎的な知識」に照らし、人間の言語と文化への深い関心と、各領域の基礎的知識と論述力を問うている。

## <解答例・評価のポイント>

### 用語問題

各用語に関する説明について以下の3つのポイントから評価する

- (1) 当該の用語の定義あるいは簡潔な説明がなされていること。
- (2) 当該言語事象の具体例があげられていて、具体例に即した説明があること、あるいは、当該項目と関連する項目への言及があり、当該項目が各領域の中でどのような位置付けにあるものかについて説明がされていること。
- (3) 表現が分かりやすく、論理的な文章であること。

### 論述問題

以下の3つのポイントから評価する

- (1) 当該の問いに対する、自らの考え・主張が明示的に述べられていること。
- (2) 自らの考え・主張の根拠となる事柄が具体的、かつ、論理的に述べられていること。
- (3) 表現が分かりやすく、論理的な文章であること。

2025年度南山大学大学院 人間文化研究科 言語科学専攻 (2025年9月入学)

2026年度南山大学大学院 人間文化研究科 言語科学専攻 (2026年4月入学)

<修士課程> 社会人入学審査

(2025年7月12日実施)

試験科目：小論文

配点：100点

---

この問題は正答が一義的ではなく、受験者の考えを論述させる問題であることから、  
解答例等の提示はしていません

**発行：南山大学 入学センター**

**名古屋市昭和区山里町 18 番地**

Phone : (052)832-3119

E-mail : [nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp](mailto:nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp)

U R L : <https://www.nanzan-u.ac.jp/>